

(神森は5年ぶり6度目の優勝)

▽女子準決勝

芦城 18
(石川) 108
106
16
美東



全国3位の女子美東 (提供)

美東は惜敗3位

女子「2冠ならず残念」

達成できず残念。しかし子どもたちはしっかりと練習してきた。お疲れさまとねぎらいたい」と語った。

前日の準々決勝では開催県・山口の岐陽相手に堅守が光り、26-14と快勝した。準決勝でも得意の堅守速攻で波に乗りたかったが、シユートがバーに阻まれるなど「序盤からリズムに乗れなかった」(平良監督)。主将のGK比嘉楓も「自分たちのやってきたことが出し切れなかった」と、粘り強く戦った一方で速攻の展開やシユートの決定力が低く、ちぐはぐな攻撃で得点が伸びなかったのを残念がった。

「この悔いを忘れずに、次はもう一度全国頂点を取りたい」と比嘉主将。平良監督も「精神的にたくましくなっている。勝てなかったのは監督の責任だが、次はリベンジしたい」と、沖縄選抜で戦う12月のJOCジュニアオリンピックでの雪辱を誓った。

春夏連覇を目指した女子の美東だが準決勝で芦城(石川)に16-18で惜敗し、3位だった。平良徳彦監督は「2冠を狙っていたが、